

平成29年度実施事業における
点検・評価 報告書

平成30年12月
四條畷市教育委員会

目 次

ページ

四條畷市教育委員会の取組み	1
1 事務の点検・評価について	
(1) 点検・評価の趣旨	2
(2) 点検・評価の対象	2
(3) 点検・評価の実施方法	2
(4) 点検評価シートの構成	3
2 教育委員会の活動	
(1) 教育委員	4
(2) 教育委員会の役割	4
(3) 教育委員会の開催状況	5
(4) 教育委員の主な研修及び活動	
① 教育委員	7
② 教育長	7
3 点検評価シート	
1 学力の向上	
(1) 畷の授業スタンダードの確立（第2期学力向上3ヶ年計画の実施）	
① 学力向上プロジェクトチーム会議の開催	13
② 特色ある教育実践事業	15
③ フォローアップ対策の充実	17
(2) 教職員研修の充実	
① 初任者、2年め、5年め、10年め経験者研修の実施	19
(3) ICT環境整備	
① ICT環境整備	20
2 支援教育の深化	
(1) スムーズな就学、進学、個に応じた支援の充実	
① 支援学級設置、通級指導教室設置、学校支援員及び介助員の配置	21

3	読書活動の拡充	
	(1) 市立図書館の読書活動の推進	
	① 市立図書館の取組み	22
	(2) 第2次子ども読書活動推進計画に基づく取組み	
	① 市立図書館における子どもの読書活動推進の取組み	24
	② 学校と市立図書館の連携・協力による学校図書館の取組み	26
4	英語教育の推進	
	(1) 小学校初期段階からの英語教育の充実	
	① 小中学校の英語教育担当職員の指導力向上/英語外部検定試験	27
5	体力の向上	
	(1) 体力の向上の推進	
	① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施	28
	(2) 市民の体力づくり、健康の増進を推進	
	① 市民体育祭・暇歩こう会等の実施	29
6	豊かな心の育成	
	(1) 人権教育の推進	
	① 各種人権教育施策	30
	② 四條畷市いじめ問題対策委員会、四條畷市いじめ防止基本方針の策定	31
	(2) 道徳教育の推進	
	① 道徳教育推進事業	32
7	郷土愛の醸成	
	(1) 郷土学習の推進	
	① 郷土教育副読本「わたしたちの四條畷」(小学3、4学年版)作成事業	33
	(2) 文化財の保護と活用	
	① 文化財保護審議会の開催、大阪府文化財愛護推進委員会議と河北文化財愛護推進連絡協議会への参加、飯盛城跡国史跡指定推進事業、開発工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施、雁屋畑線埋蔵文化財発掘調査報告書作成事業の実施、歴史民俗資料館特別展と関連事業の実施、出前講座の実施・小学校校外学習の実施	34

8	就学前教育の充実	
	(1) 認定こども園の計画的な整備	
	① 平成29年度から開設した市立認定こども園の円滑な運営を支援するとともに、今後の公立保育所の認定こども園移行を検討 36
	(2) 保・幼・こ・小の学びの接続を推進	
	① 保幼小中連携担当職員研修の開催、6月・2月に保幼小連絡会を実施するとともに、各園・小学校・中学校で子どもの交流事業を実施 37
9	子ども・子育て支援に向けた環境整備	
	(1) 子どもの権利擁護の推進	
	① 子ども基本条例の啓発、いじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関と情報交換を行う 38
	② 障がいや発達に課題のある子どもと保護者への支援の充実 39
	(2) 子どもが安心・安全にらせるまちづくり	
	① つどいの広場事業等の実施 41
10	子どもの貧困対策	
	(1) 子どもの貧困対策の実施	
	① 暇の子どもつながりプランの全校実施 42
11	子ども・若者の健全育成	
	(1) 青少年の健全育成	
	① ふれあい教室の待機児童対策、ふれあい教室と放課後子ども教室の合同事業実施、土曜日フォローアップ教室との連携 43
	② 学校、家庭、地域が一体となった取組み 44
	③ 子ども・若者ひきこもり支援体制の確立 45
12	安心安全の確保	
	(1) 教育環境の整備	
	① 教育環境の整備 46
	(2) 通学路の安全対策	
	① 四條畷市通学路交通安全プログラム 47

(3) 高度な衛生管理とエネルギー最適化の追求	
① 世界基準 ISO22000 を取得した衛生管理の充実と老朽化した施設整備に加え、ガスコージェネ・太陽光パネル設置した省エネルギー化と災害に強い施設	48
1 3 食育の推進	
(1) 四條畷市食育推進計画の推進	
① 四條畷市食育推進会議の取組み	49
② 四條畷市食育推進会議の取組みと地場産にこだわった給食運営	50
(2) 安心・安全・美味しいをテーマに	
① ユニバーサル農園を中心とした地産地消の給食運営	51
1 4 生涯学習の支援	
(1) 自ら学ぶ環境づくり	
① 各種サークル団体等の活動発表の場の提供、IT の活用と普及	52
② 第2次識字基本計画に基づく事業展開	53
(2) 生涯スポーツの振興	
① 四條畷市マラソン大会等の実施	55
(3) 文化・芸術の振興	
① 市民文化祭の開催等	56
(4) 社会教育関係団体への支援、市民へ社会教育資源の情報提供	
① 社会教育関係団体の自立運営に向けた支援、情報提供	57
(5) 人材の育成	
① 体育文化奨励賞、歴史散策「おおさかふみんネット」の実施	58
(6) 市民主体の教育文化活動の場、機会を創造	
① 公民館フェスティバル	59
(7) 地域の魅力と活力を生み出す	
① オープンサークル	60
(8) 識字施策の推進	
① にほんご教室	61

15 ひとづくりは、まちづくりプロジェクト

(1) 教育環境整備計画の推進

① 教育環境整備計画の推進 62

(2) 社会教育施設の充実

① 社会教育施設整備計画 63

(3) 教育センターの充実

① 教育センター機能充実 (適応指導教室の充実、野外体験活動の実施)
. 64

外部評価者の意見・助言等 65

四條畷市教育委員会の取組み

四條畷市の未来を託す子どもたちには、それぞれの夢や希望が叶えられるソフト、ハード両面にわたる環境が不可欠です。

また、子どもたち自身が確かな一歩を踏み出すために必要な力を育むことを実現するには、学校における教育だけでなく、子どもたちの育みにとっての家庭、身近な地域が具体的取組みに参画する仕組みづくりが求められます。

そして、生涯にわたり自己の人格を磨き、豊かな人生が送れるよう、学習の機会を設け、その成果を適切に生かすことのできる環境の整備が必要です。

教育委員会では、教育の振興に関する施策目標を明確にし、実践へとつなげるために、「子どもがイキイキワクワク」する教育環境づくり、「ひとづくりはまちづくり」のもと、つながり力を醸成、「人と人との絆づくり」で地域社会を元気にを理念とした「教育振興ビジョン」を策定のもと、「生きる力を育み、将来の社会を担う人材の育成」、「家庭・地域・学校の連携を充実させ、一丸となった教育の向上」、「生涯を通じて学習やスポーツをすることができる機会の充実」を共通目標としての各施策や事業を展開しております。

また、平成27年4月1日に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、総合教育会議を開催し、本ビジョンを総合的、横断的に推進するため、市長と教育委員会が教育の振興に関する施策目標を共有し、本市の教育の大綱として位置付けました。

今後も教育委員会は、独立した執行機関として政治的中立性、継続性、安定性の確保、教育行政への多様な民意の反映、教育長及び事務局が執行する事務の評価監視という役割を担いつつ、大綱の理念と目標をもって、市長部局と教育委員会が一体となり「四條畷市の教育」の更なる推進を行ってまいります。

1 事務の点検・評価について

(1) 点検・評価の趣旨

①教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組み状況について点検及び評価を行い、課題や方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図ります。

②点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市民への説明責任を果たすため、これを議会に提出するとともに公表します。

(参考法令) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象

本市では、点検及び評価を継続的に行うため、平成25年度から四條畷市の「教育振興ビジョン」（注1）より主要な施策を選定し、事業等の取組み状況を対象とします。

(注1)「教育振興ビジョン」別添資料

市がめざすべき基本理念や方向性を明確に示すものとして、教育委員会が平成26年度から32年度の7年間にわたり、実現に向けた施策を具体化、体系化した基本的な計画を効果的かつ着実な実施に努めるために策定したものです。

新教育委員会制度によって平成27年4月開催の「総合教育会議」では、本市の教育の「大綱」として位置付けられています。

(3) 点検・評価の実施方法

①点検、評価にあたっては、年度の目標、実績等により事業の達成度を5段階にて自己評価を行っております。

また、事業実施後において課題を分析したうえで、今後の取り組む方向性を示すこととしています。

②点検、評価にあたっては、客観性を確保するため、教育に関し、学識経験を有する方にも会議に出席していただき、教育委員会点検評価会議を開催し、点検、評価を行いました。

(注2) 自己評価基準表

評 価 基 準	S:達成基準を上回る (達成度100%超)	B:達成基準をやや下回る (達成度概ね70%以上)
	A:達成基準どおり (達成度100%)	C:達成基準を下回る (達成度概ね40%以上)
		D:達成基準をかなり下回る (達成度概ね40%未満)

【学識経験者】

甲子園大学非常勤講師(元大阪教育大学 教授) 島 善信 氏

京都女子大学 発達教育学部 教育学科 教授 岩槻 知也 氏

(4) 点検評価シートの構成

①主要施策

「教育振興ビジョン 子どもがイキイキワクワク、ひとづくりはまちづくり、人と人との絆づくり」の主要施策、施策目標、主要事業ごとに作成し、点検評価を行いました。

②年度の目標

施策目標を基に実施事業について年度ごとの目標を記載しています。

③計画の概要

各点検評価シートの取組み概要を記載しています。

④活動の実績

平成29年度に行った取組み内容及び予算額がある場合は、決算額などを取り入れて記載しています。

⑤実績の評価

平成29年度の取組みに対する実績により、5段階で自己評価を行い、評価の理由として、実績の評価の説明内容を記載しています。

⑥課題と今後の取組み

平成29年度の取組みに対する成果、課題を踏まえ平成29年度の取組みを記載しています。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで 平成29年10月1日から平成29年12月31日まで

役職名	氏名
教育長	森田 政己
教育長職務代理者	山本 博資
委員	大村 民子
委員	原 知雅
委員	吉田 知子

役職名	氏名
教育長	森田 政己
教育長職務代理者	山本 博資
委員	原 知雅
委員	吉田 知子
委員	竹内 千佳夫

平成30年1月1日から平成30年3月31日まで

役職名	氏名
教育長	森田 政己
教育長職務代理者	山本 博資
委員	吉田 知子
委員	竹内 千佳夫
委員	小田 みゆき

(2) 教育委員会の役割

平成27年4月1日から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正による新教育委員会制度では、地方教育行政における首長の責任がより明確になることにより、首長のもとで教育施策を進める体制ができ、首長が教育長を任免、教育に関する大綱の作成、総合教育会議における協議などを行うことができるようになりました。

今回の法改正により教育行政の責任者としての教育長のリーダーシップは高まりますが、教育長以外は非常勤の委員で構成する委員会の多数決で意思決定を行う仕組みは従来どおりです。

これからも教育委員会は執行機関として教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保、教育行政への多様な民意の反映、教育長及び事務局が執行する事務の評価、監視という重要な役割を担ってまいります。

(3) 教育委員会開催状況

原則として、毎月1回「教育委員会定例会」を開催し、必要に応じて「臨時教育委員会」を開催しています。

開催年月日	案件名	議決等
平成29年4月12日 (臨時会)	四條畷市教育環境整備計画について	可決
平成29年4月19日 (定例会)	四條畷市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について	可決
	四條畷市立学校結核対策検討委員会委員の委嘱について	可決
平成29年5月24日 (定例会)	四條畷市立学校教科用図書選定委員会の委員の委嘱について	可決
	四條畷市立学校教科用図書選定委員会への諮問について	可決
	四條畷市立公民館運営審議会委員の委嘱について	可決
	四條畷市立図書館協議会委員の任命について	可決
	教育環境整備について	可決
	四條畷市社会教育委員の委嘱について	可決
	四條畷市私立幼稚園就園奨励費補助金条例の一部を改正する条例案について	報告
	四條畷市身体障害者及び知的障害者の医療費の助成に関する条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について	報告
四條畷市乳幼児教育保育アクションプランの策定について	報告	
平成29年6月28日 (定例会)	四條畷市教育委員会指定管理者選定・評価委員会委員の委嘱について	可決
	四條畷市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会委員の委嘱について	可決
	教育環境整備について	可決
平成29年7月26日 (定例会)	平成30年度使用四條畷市立小学校教科用図書の採択について	可決
	平成30年度使用四條畷市立中学校教科用図書の採択について	可決
	教育環境整備について	可決
	教育振興ビジョンの改訂について	報告

平成29年8月23日 (定例会)	教育環境整備について	報 告
平成29年9月27日 (定例会)	平成28年度四條畷市教育委員会点検・評価 について	報 告
	教育環境整備について	報 告
平成29年10月18日 (臨時会)	職員に対する処分について	可 決
	中野地区及び葎屋地区における住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	報 告
平成29年10月25日 (定例会)	四條畷市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正につい て	可 決
	平成30年度機構改革(案)について	報 告
	平成29年度体育・文化奨励賞の受賞者について	報 告
平成29年11月22日 (定例会)	公の施設の管理運営に関する評価結果(平成28年度分)について	報 告
平成29年12月27日 (定例会)	四條畷市教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規 則の制定について	可 決
	四條畷市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定 について	可 決
	四條畷市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会規則の一部を 改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市学校適正配置審議会条例施行規則の一部を改正する規 則の制定について	可 決
	公民館処務規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を 改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市立小中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規 則の制定について	可 決
	四條畷市教育委員会委員の辞職について	同 意
	四條畷市教育委員会委員の任命に係る議会同意について	報 告
平成29年12月27日 (臨時会)	職員に対する処分について	可 決
平成30年1月24日 (定例会)	四條畷市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する規程につ いて	報 告

平成30年2月28日 (定例会)	請願書について	留 保
	平成30年度教育委員会の新規・臨時・拡充事業について	報 告
平成30年3月28日 (定例会)	第3期四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画について	報 告
	四條畷市教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する規程の制定について	報 告
	四條畷市教育委員会文書規程の一部を改正する規程の制定について	報 告
	四條畷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	報 告
	平成30年度四條畷市一般会計教育費の予算額について	報 告

(4) 教育委員の主な研修及び活動

①教育委員

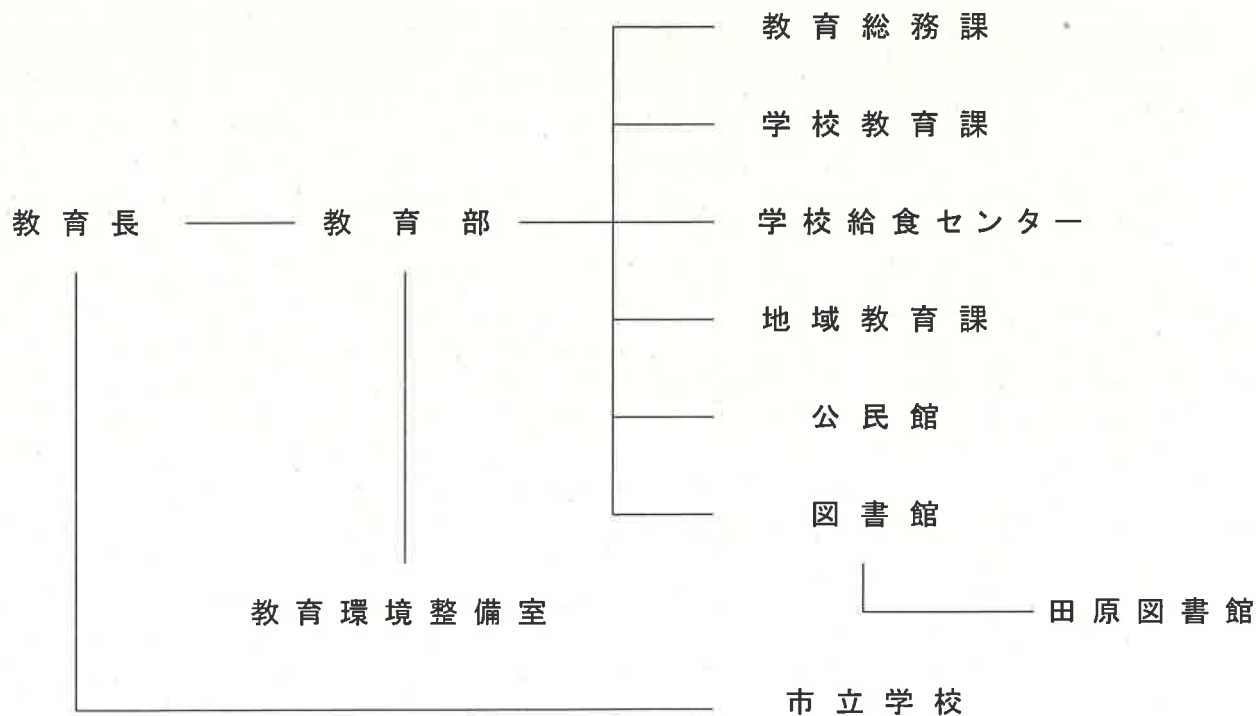
平成29年5月22日	平成29年度大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会に参加
平成29年7月24日	四條畷南小学校6学年、四條畷東小学校6学年児童、四條畷南中学校1、2学年生徒の保護者を対象とした市長、教育長との意見交換会に参加
平成29年9月30日	田原小学校、四條畷南小学校、忍ヶ丘小学校、四條畷東小学校、岡部小学校運動会に出席
平成29年10月6日	四條畷南中学校体育大会に出席
平成29年10月13日	四條畷中学校、田原中学校体育大会に出席
平成29年10月24日	平成29年度近畿市町村教育委員会研修大会に参加
平成29年11月6日	平成29年度大阪府市町村教育委員会研修会に参加
平成29年11月16日 ～11月17日	平成29年度四條畷市教育委員会委員管外研修(東京都小金井市)
平成30年1月16日	平成29年度市町村教育研究協議会に参加
平成30年1月29日	平成29年度大阪府都市教育委員会研修会に参加
平成30年2月20日	平成29年度北河内地区教育委員会委員研修会に参加
平成30年3月14日 ～3月16日	平成29年度 小中学校卒業式、保育修了式に出席

②教育長

平成29年4月5日	平成29年度市町村教育委員会委員長・教育長会議に参加
平成29年4月6日	四條畷南小学校入学式に出席
平成29年4月7日	田原中学校入学式に出席
平成29年4月10日	忍ヶ丘あおぞらこども園入園式に出席
平成29年4月14日	平成29年度大阪府都市教育長協議会総会・4月定例会に参加
平成29年4月17日	平成29年度北河内地区教育長協議会に参加
平成29年4月18日	四條畷南中学校新1年生の保護者との意見交換会に参加
平成29年4月27日 ～4月28日	平成29年度近畿都市教育長協議会定期総会に参加
平成29年5月14日	市民体育祭に参加
平成29年5月18日	四條畷南小学校6学年、四條畷東小学校6学年児童の保護者との意見交換会に参加
平成29年5月19日	第69回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会奈良大会に参加
平成29年5月22日	平成29年度大阪府都市教育委員会協議会定期総会に参加
平成29年7月10日 ～7月11日	平成29年度北河内地区教育長協議会管外研修会に参加
平成29年7月14日	平成29年度大阪府都市教育長協議会・7月定例会に参加
平成29年7月18日	平成29年度第2回北河内地区教育長協議会及び北河内地区人事協議会に参加
平成29年7月24日	四條畷南小学校6学年、四條畷東小学校6学年児童、四條畷南中学校1、2学年生徒の保護者を対象とした市長、教育長との意見交換会に参加
平成29年7月28日	平成29年度大阪府都市教育長協議会夏季研修会・定例会に参加
平成29年9月2日	四天王寺大学創立五十周年四天王寺短期大学創立六十周年記念式典に出席
平成29年9月30日	四條畷小学校、くすのき小学校の運動会に参加
平成29年10月6日	平成29年度大阪府都市教育長協議会10月定例会に参加
平成29年10月8日	畷幼稚園運動会に出席
平成29年10月11日	四條畷南中学校体育大会に出席
平成29年10月13日	四條畷中学校、田原中学校体育大会に出席
平成29年10月14日	忍ヶ丘あおぞらこども園運動会に出席
平成29年10月24日	平成29年度近畿市町村教育委員会研修大会に参加
平成29年10月26日 ～10月27日	平成29年度近畿都市教育長協議会研究協議会に参加
平成29年11月6日	平成29年度大阪府市町村教育委員会研修会に参加
平成29年11月7日	平成29年度大阪府都市教育長協議会秋季研修会に参加

平成29年11月16日 ～11月17日	平成29年度四條畷市教育委員会委員管外研修(東京都小金井市)
平成30年1月7日	消防出初式に参加
平成30年1月8日	成人式に参加
平成30年1月12日	平成29年度大阪府都市教育長協議会1月定例会に参加
平成30年1月21日	四條畷市総合防災訓練に参加
平成30年1月29日	平成29年度大阪府都市教育委員会研修会に参加
平成30年1月30日	平成29年度第3回北河内地区教育長協議会及び北河内地区人事協議会に参加
平成30年2月3日	教育フォーラムに参加
平成30年2月6日	平成29年度第4回北河内地区教育長協議会及び北河内地区に参加
平成30年2月20日	平成29年度北河内教育委員会委員研修会に参加
平成30年3月14日	四條畷南中学校卒業式に出席
平成30年3月16日	岡部小学校卒業式に出席

教育委員会組織図



四條畷市の教育

理念

「子どもがイキイクワクワする教育環境づくり・「ひとづくりはまちづくり」のもと、つながり力を醸成・「人と人との絆づくり」で地域社会を元気に

目標

- 生きる力を育み、将来の社会を担う人材の育成
- 家庭・地域・学校の連携を充実させ、一丸となった教育の向上
- 生涯を通じて学習やスポーツすることができる機会の充実

学力の向上

P4-10

支援教育の深化

P11-12

読書活動の拡充

P13-14

英語教育の推進

P15

体力の向上

P16

豊かな心の育成

P17-21

郷土愛の醸成

P22-23

安心安全の確保

P37-39

食育の推進

P40-42

生涯学習の支援

P43-50

ひとづくりはまちづくりプロジェクト

P51-57

教育環境整備計画の推進
社会教育施設の充実
教育センターの充実

就学前から義務教育卒業後までの系統立て

P24

就学前教育の充実

P25-26

子ども・子育て支援に
向けた環境整備

P27-32

子どもの貧困対策

P33

子ども・若者の
健全育成

P34-36

重点項目	施策目標		平成29年度に実施した主要事業	担当名
1 学力の向上	(1)	隣の授業スタンダードの確立 (第2期学力向上3ヶ年計画の実 施)	① 学力向上プロジェクトチーム会議の開催	学校教育課
	(2)	教職員研修の充実	② 特色ある教育実践事業	学校教育課
	(3)	ICT環境の整備	③ フォローアップ対策の充実	学校教育課
2 支援教育の深化	(1)	スムーズな就学、進学、個に応じ た支援の充実	① 初任者、2年め、5年め、10年め経験者研修の実施	学校教育課
	(1)	市立図書館の読書活動の推進	① ICT環境整備	教育総務課
3 読書活動の拡充	(1)	市立図書館の読書活動の推進	① 支援学級設置、通級指導教室設置、学校支援員及び介助員の配置	学校教育課
	(2)	第2次子ども読書活動推進計画 に基づく取り組み	① 市立図書館における子どもの読書活動推進の取り組み ② 学校と市立図書館の連携・協力による学校図書館の取組み	図書館 図書館 図書館
4 英語教育の推進	(1)	小学校初期段階からの英語教育 の充実	① 小中学校の英語教育担当職員の指導力向上/英語外部検定試験	学校教育課
5 体力の向上	(1)	体力の向上の推進	① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施	学校教育課
	(2)	市民の体力づくり、健康の増進を 推進	① 市民体育祭・暇歩こう会等の実施	地域教育課
6 豊かな心の育成	(1)	人権教育の推進	① 多様な人権教育施策	学校教育課
	(2)	道徳教育の推進	② 四條畷市いじめ問題対策委員会、四條畷市いじめ防止基本方針の策定	学校教育課
7 郷土愛の醸成	(1)	郷土学習の推進	① 道徳教育推進事業	学校教育課
	(2)	文化財の保護と活用	① 郷土教育副読本「わたしたちの四條畷」(小学3、4学年版)作成事業 文化財保護審議会の開催、大阪府文化財愛護推進委員会と河北文化財愛護推進連絡協議会への参加、飯盛城跡国史跡指定推進事業、開発工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施、雁屋畑線埋蔵文化財発掘調査報告書作成事業の実施、歴史民俗資料館特別展と関連事業の実施、出前講座の実施・小学校校外学習の実施	学校教育課 地域教育課
8 就学前教育の充実	(1)	認定こども園の計画的な整備	① 平成29年度から開設した忍ヶ丘おおぞらこども園の円滑な運営を支援するとともに、今後の岡部保育所の認定こども園移行を検討	子ども政策課
	(2)	保・幼・こ・小の学びの接続を推 進	① 保幼こ小中連携担当職員研修の開催、6月、2月に保幼こ小連絡会を実施するとともに、各園、小学校、中学校で子どもの交流事業を実施	子ども政策課
9 子ども・子育て支援に向けた環境整備	(1)	子どもの権利擁護の推進	① 子ども基本条例の啓発、いじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関と情報交換を行う	子ども政策課
	(2)	子どもが安心・安全にくらせるま ちづくり	② 障がいや発達に課題のある子どもと保護者への支援の充実 ① つどいの広場事業等の実施	児童発達支援センター 子育て総合支援センター

10	子どもの貧困対策	(1)	子どもの貧困対策の実施	①	囀の子どもつながりプランの全校実施	学校教育課
11	子ども・若者の健全育成	(1)	青少年の健全育成	①	ふれあい教室の待機児童対策、ふれあい教室と放課後子ども教室の合同事業実施、土曜・日フオーアップ教室との連携	地域教育課
		(1)		②	学校、家庭、地域が一体となった取組み	地域教育課
		(1)		③	子ども・若者ひきこもり支援体制の確立	地域教育課
12	安心安全の確保	(1)	教育環境の整備	①	教育環境の整備	教育総務課
		(2)	通学路の安全対策	①	四條畷市通学路交通安全プログラム	学校教育課
		(3)	高度な衛生管理とエネルギー最適化の追求	①	世界基準ISO22000を取得した衛生管理の充実と老朽化した施設整備に加え、ガスコージェネ・太陽光パネル設置した省エネルギー化と災害に強い施設	給食センター
13	食育の推進	(1)	四條畷市食育推進計画の推進	①	四條畷市食育推進会議の取組み	保健センター
		(2)	安心・安全・美味しいをテーマに	②	四條畷市食育推進会議の取組みと地場産にこだわった給食運営	給食センター
		(1)	自ら学ぶ環境づくり	①	ユニバーサル農園を中心とした地産地消の給食運営	給食センター
14	生涯学習の支援	(1)	自ら学ぶ環境づくり	①	各種サークル団体等の活動発表の場の提供、ITの活用と普及	地域教育課
		(2)	生涯スポーツの振興	②	第2次識字基本計画に基づく事業展開	地域教育課
		(3)	文化・芸術の振興	①	四條畷市マラソン大会等の実施	地域教育課
		(4)	社会教育関係団体への支援、市民へ社会教育資源の情報提供	①	市民文化祭の開催等	地域教育課
		(5)	人材の育成	①	社会教育関係団体の自立運営に向けた支援、情報提供	地域教育課
		(6)	市民主体の教育文化活動の場、機会を創造	①	体育文化奨励賞、歴史散策「おおさかふみんネット」の実施	地域教育課
		(7)	地域の魅力と活力を生み出す	①	公民館フェスティバル	公民館
		(8)	識字施策の推進	①	オープンサークル	公民館
15	ひとづくりは、まちづくりプロジェクト	(1)	教育環境整備計画の推進	①	にほんご教室	公民館
		(2)	社会教育施設の充実	①	教育環境整備計画の推進	教育環境整備室
		(3)	教育センターの充実	①	社会教育施設整備計画 教育センター機能充実(適応指導教室の充実、野外体験活動の実施)	地域教育課 学校教育課

重要項目	1	学力の向上	担当課名																																																																																																						
施策目標	(1)	暁の授業スタンダードの確立(第2期学力向上3カ年計画の実施)	学校教育課																																																																																																						
主要事業	①	学力向上対策プロジェクトチーム会議の開催																																																																																																							
年度の目標	<p>「四條暁市児童・生徒学力向上3ヶ年計画」に基づき、児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校1人の学力向上担当者と、市長部局、図書館、校長会、教頭会、市教委事務局で学力向上対策プロジェクトチーム会議を組織する(以下、学担会)。学担会では、授業改善を重点的な取り組み内容として、学校と連携して進めていく。</p> <p>次期学習指導要領への理解を深めつつ、「暁の授業スタンダードの確立」をめざし、「授業改善」「フォローアップ対策」「家庭学習・生活習慣」「小中連携・一貫教育」の4つの柱を軸に調査と研究を行う。</p>																																																																																																								
計画の概要	<p>「授業改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進市の視察と報告、市教委指導主事による研修会、学担会における子ども主体の授業づくり研究、実践等 ・支援教育の観点を取り入れた、「わかる」、「できる」授業研究、大学教授を招聘した研修会、実践報告会等の実施 ・日常の授業改善を趣旨とした、指導主事による学校訪問 <p>「フォローアップ対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みフォローアップ授業(夏季休業中5日間)、土曜日フォローアップ教室の実施(月2回) ・学習指導員、学生ボランティアの配置 <p>「家庭学習の習慣化・生活習慣の改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自学自習ノート等、各校での取り組み推進、生活習慣改善の啓発パンフレットの配布 <p>「小中連携・一貫教育の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区において、行事の交流、小中合同研修、研究授業の相互参観等の実施 																																																																																																								
活動の実績	<p>授業改善については、先進市の視察や小中が連携した授業研究、指導主事の学校訪問等を通して、すべての学校で「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業研究が推進されている。</p> <p>特に、大阪府教育委員会指定の市内小学校2校、中学校1校のスクール・エンパワーメント推進校では、校内研究授業、研究討議への全教職員の関わりを意識した行内体制推進が図られ、その取り組みを学力向上対策プロジェクトチーム会議において報告し、市域への普及を図った。</p> <p>授業の本質として、ユニバーサルデザインを意識した授業づくり(注1)や話し合い活動を取り入れた授業づくりは前提条件とし、次期学習指導要領に示された育成すべき資質・能力3つの柱(学びに向かう力、知識・技能、思考力・表現力・判断力)を育成するため、指導者が、教科の目標や系統性、指導事項等を意識した「逆向き設計の授業づくり」を進めている。担当者が各校で研修会を行えるよう、「授業づくり研修」や「公開授業」を定期的実施し、理解を深めた。</p> <p>また、本会議における学校報告では、各校の「フォローアップ対策」の取り組みについて、成果と課題を共有し、各校の新たな取り組みへとつながった。同時に「家庭学習の習慣化、生活改善」についても、本会議で共有され、家庭学習週間を中学校区で設定したり、小中ともに自主学習ノートの取組をそろえたり、小中連携を意識した取り組みへと発展した。</p> <p>全国学力・学習状況調査における授業改善に係る児童生徒質問紙調査結果(表①)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th colspan="6">全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「目標(めあて・ねらい)」の提示</th> <th colspan="6">全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「授業中の話し合い活動」</th> </tr> <tr> <th colspan="2">四條暁市平均</th> <th colspan="2">大阪府平均</th> <th colspan="2">全国平均</th> <th colspan="2">四條暁市平均</th> <th colspan="2">大阪府平均</th> <th colspan="2">全国平均</th> </tr> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>75.5</td> <td>62.7</td> <td>75.9</td> <td>48.1</td> <td>79.3</td> <td>64.7</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>80.7</td> <td>55.7</td> <td>80.7</td> <td>57.5</td> <td>82.0</td> <td>71.5</td> <td>79.9</td> <td>78.6</td> <td>82.4</td> <td>61.7</td> <td>84.9</td> <td>75.3</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>85.1</td> <td>84.0</td> <td>85.4</td> <td>70.1</td> <td>86.3</td> <td>79.7</td> <td>83.2</td> <td>84.6</td> <td>82.9</td> <td>67.0</td> <td>85.2</td> <td>78.2</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>91.1</td> <td>88.1</td> <td>86.0</td> <td>78.4</td> <td>87.6</td> <td>84.9</td> <td>83.2</td> <td>79.6</td> <td>80.7</td> <td>70.3</td> <td>83.4</td> <td>77.8</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>93.8</td> <td>94.8</td> <td>87.9</td> <td>81.7</td> <td>88.2</td> <td>87.8</td> <td>88.3</td> <td>85.3</td> <td>82.2</td> <td>73.5</td> <td>84.5</td> <td>81.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)ユニバーサルデザインを意識した授業:学力の優劣や発達障がいの有無にかかわらず、すべての子どもが、楽しく「わかる・できる」ことをめざし、教科における工夫や、様々な子どもへの配慮、個に特化した配慮などを行う、通常の学級における授業デザインのこと。</p>			年度	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「目標(めあて・ねらい)」の提示						全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「授業中の話し合い活動」						四條暁市平均		大阪府平均		全国平均		四條暁市平均		大阪府平均		全国平均		小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	平成25年度							75.5	62.7	75.9	48.1	79.3	64.7	平成26年度	80.7	55.7	80.7	57.5	82.0	71.5	79.9	78.6	82.4	61.7	84.9	75.3	平成27年度	85.1	84.0	85.4	70.1	86.3	79.7	83.2	84.6	82.9	67.0	85.2	78.2	平成28年度	91.1	88.1	86.0	78.4	87.6	84.9	83.2	79.6	80.7	70.3	83.4	77.8	平成29年度	93.8	94.8	87.9	81.7	88.2	87.8	88.3	85.3	82.2	73.5	84.5	81.8
年度	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「目標(めあて・ねらい)」の提示						全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「授業中の話し合い活動」																																																																																																		
	四條暁市平均		大阪府平均		全国平均		四條暁市平均		大阪府平均		全国平均																																																																																														
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校																																																																																													
平成25年度							75.5	62.7	75.9	48.1	79.3	64.7																																																																																													
平成26年度	80.7	55.7	80.7	57.5	82.0	71.5	79.9	78.6	82.4	61.7	84.9	75.3																																																																																													
平成27年度	85.1	84.0	85.4	70.1	86.3	79.7	83.2	84.6	82.9	67.0	85.2	78.2																																																																																													
平成28年度	91.1	88.1	86.0	78.4	87.6	84.9	83.2	79.6	80.7	70.3	83.4	77.8																																																																																													
平成29年度	93.8	94.8	87.9	81.7	88.2	87.8	88.3	85.3	82.2	73.5	84.5	81.8																																																																																													
実績の評価	評価の内容																																																																																																								
A	<p>全国学調における「目標(めあて・ねらい)」の提示並びに、「授業中の話し合い活動」の項目について、平成28年度から平成29年度にかけて、肯定的回答の割合が向上しており、また国、府よりも上回っており、本市の授業改善が図れたので、評価をAとする。</p>																																																																																																								

現状の課題

PT会議の内容や他校の効果的な取組みをし、所属校に啓発するミドルリーダーを育成する。
各校担当者が主体的に関わる会議の運営方法を見直す。
改めてすべての教員が「学習指導要領」及び「今めざすべき求められている学力観」をしっかりと理解し、それらを踏まえた授業を展開する。

今後の取組み

小中学校で各校担当者の公開研究授業を開催することで、日々の授業改善の取組みの充実を図る。
1学期は、研修会や公開授業を通して、次期学習指導要領改訂のポイントと、本市授業モデルに基づいた「授業改善」についての理解を深めていく。2学期以降は、公開授業を通して、担当者の資質向上を図り、各校の取組みにつながる内容での運営を行う。
市全体や各校における課題及び成果について、NRT(注2)や全国学力・学習状況調査の結果を活用しながら共通理解を図り、各校における取組みの指標としていく。
「次期学習指導要領」に基づき、新しい時代で生きていくための育成すべき資質・能力を明確にし、「主体的」「対話的」な学びを相互に関連付けた授業改善をすべての学校で推進していく。
(注2)NRT:全国標準学力検査(株式会社図書文化社)の略。市単費で実施している経年分析が可能な学力検査。

重要項目	1	学力の向上	担当課名																																																																						
施策目標	(1)	暁の授業スタンダードの確立(第2期学力向上3ヶ年計画の実施)	学校教育課																																																																						
主要事業	②	特色ある教育実践事業																																																																							
年度の目標	<p>課題を明確にするための指標を学校と共有し、解決に向けた具体的な取組みに繋げる。 各校の取組みビジョンを明確にし、市教育委員会とその方針の共有を図る。 各校の課題解決に向けた組織的かつ計画的な取組みにするため、各小中学校におけるR-PDCAサイクル(注1)を確立する。</p> <p>(注1)R-PDCAサイクル:調査(R)、計画(P)、実践(D)、点検・評価(C)、修正(A)という一連の教育を含む事業活動改善サイクル</p>																																																																								
計画の概要	<p>児童生徒の学習の定着状況や各校の取組み状況を把握するために、全国標準学力検査(NRT)、全国学力・学習状況調査、児童生徒、教職員アンケート(組織的な取組み、授業改善、家庭学習の取組みの状況を把握するための調査)を実施する。 課題解決に向けた特色ある取組みになるように、各校が学力向上推進計画を作成し、市教育委員会と共有を図る。市教育委員会は、学力向上推進計画をもとに、学校訪問を通して、学校の現状を把握したり進捗確認をしたりする。</p>																																																																								
活動の実績	<p>これまで学校独自開催であった校内研究授業においても、大学教授等の講師を招へいすることにより、専門的な知見からのご指導、ご助言いただき、定期的な学校の取組み検証がなされた。 ICT機器(書画カメラ、パソコン、大型テレビ、iPad、デジタル教科書等)を活用した「主体的・対話的」な学びの実現に向けた授業改善を図った。児童生徒が、ICT機器を活用して「表現」することにより、「対話」が生まれ、また「対話」から「深い学び」を促す授業が推進された。 家庭学習の取組みにおいては、家庭学習用の教材や自学自習ノートを活用して、家庭学習の習慣化や自学自習力の向上に係る取組みが進んだ。 また、身近に本がある学習環境づくりや魅力ある学校図書館をめざした、学校の特色ある取組みが推進された。</p> <p>児童生徒教職員アンケート結果(小学校)より</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>よくしている</th> <th>どちらかといえばしている</th> <th>あまりしていない</th> <th>全くしていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29後期</td> <td>36.2%</td> <td>61.1%</td> <td>2.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29前期</td> <td>36.2%</td> <td>56.7%</td> <td>7.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28後期</td> <td>35.6%</td> <td>61.1%</td> <td>3.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28前期</td> <td>29.6%</td> <td>64.8%</td> <td>5.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27後期</td> <td>28.8%</td> <td>61.2%</td> <td>9.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27前期</td> <td>17.3%</td> <td>71.2%</td> <td>11.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童生徒教職員アンケート結果(中学校)より</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>よくしている</th> <th>どちらかといえばしている</th> <th>あまりしていない</th> <th>全くしていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29後期</td> <td>28.1%</td> <td>57.3%</td> <td>12.5%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>H29前期</td> <td>21.7%</td> <td>65.2%</td> <td>12.0%</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>H28後期</td> <td>24.3%</td> <td>63.1%</td> <td>11.7%</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>H28前期</td> <td>23.3%</td> <td>58.9%</td> <td>16.7%</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>H27後期</td> <td>20.5%</td> <td>65.9%</td> <td>13.6%</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>H27前期</td> <td>18.7%</td> <td>65.4%</td> <td>14.0%</td> <td>1.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>結果、市内小中学校において、掲示物や教材を工夫したり、焦点化された問題設定を行う等、授業のユニバーサルデザインを意識した授業改善が図られた。</p>				よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない	H29後期	36.2%	61.1%	2.7%		H29前期	36.2%	56.7%	7.1%		H28後期	35.6%	61.1%	3.4%		H28前期	29.6%	64.8%	5.6%		H27後期	28.8%	61.2%	9.4%		H27前期	17.3%	71.2%	11.5%			よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない	H29後期	28.1%	57.3%	12.5%	2.1%	H29前期	21.7%	65.2%	12.0%	1.1%	H28後期	24.3%	63.1%	11.7%	0.9%	H28前期	23.3%	58.9%	16.7%	1.1%	H27後期	20.5%	65.9%	13.6%	0.9%	H27前期	18.7%	65.4%	14.0%	1.9%
	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない																																																																					
H29後期	36.2%	61.1%	2.7%																																																																						
H29前期	36.2%	56.7%	7.1%																																																																						
H28後期	35.6%	61.1%	3.4%																																																																						
H28前期	29.6%	64.8%	5.6%																																																																						
H27後期	28.8%	61.2%	9.4%																																																																						
H27前期	17.3%	71.2%	11.5%																																																																						
	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない																																																																					
H29後期	28.1%	57.3%	12.5%	2.1%																																																																					
H29前期	21.7%	65.2%	12.0%	1.1%																																																																					
H28後期	24.3%	63.1%	11.7%	0.9%																																																																					
H28前期	23.3%	58.9%	16.7%	1.1%																																																																					
H27後期	20.5%	65.9%	13.6%	0.9%																																																																					
H27前期	18.7%	65.4%	14.0%	1.9%																																																																					
実績の評価	評価の内容																																																																								
A	<p>四條市児童生徒教職員アンケート結果より、「個に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか」に「よくしている」と回答した教職員の割合が向上した。 小学校 平成28年度末 35.6%⇒平成29年度末36.2% 中学校 平成28年度末 24.3%⇒平成29年度末28.1%</p>																																																																								

年度	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国府支出金	地方債	その他	一般財源
27	14,822 千円	13,616 千円	1,499 千円	0 千円	0 千円	12,117 千円
28	14,359 千円	11,960 千円	828 千円	0 千円	0 千円	11,132 千円
29	15,359 千円	13,417 千円	0 千円	0 千円	0 千円	13,417 千円
現 状 の 課 題						
<p>学校の課題解決に向けた特色ある教育実践を更に推進していくためのミドルリーダー(注2)を育成する。各校の様々な取組みについて、ねらいの再確認と浸透、取組み内容の質の向上、継続的な取組みへとシステム化を図っていく。</p> <p>授業改善、教材研究と教職員の働き方改革の関連性は高く、長時間労働の改善とともに、次期学指導要領に基づいた授業改善を推進していく必要がある。</p> <p>(注2)ミドルリーダー:管理職と教職員とをつなぎ、学校運営や教職員の資質向上に関わる人材のこと。一般的には、中堅教職員が担うことが多い。</p>						
今 後 の 取 組 み						
<p>次期学習指導要領が公示されたことにより、各校の教育課程の見直しが必要であることから、そのなかを示された「カリキュラムマネジメント」、「育成すべき資質能力」、「スタートアップカリキュラム」など要点の周知を図っていく。</p> <p>また、瞬の授業スタンダードの一層の普及を図り、管理職と学力向上担当者が授業改善の内容、授業改善のポイントを共有することで、授業の質の向上を図り、各校の学力向上の取組みを推進する。教職員の働き方改革を視野に入れ、学力向上の取組みを中心に、市全体の1年間の流れ(学力向上推進計画の作成、児童生徒、教職員アンケートや全国標準学力検査・全国学力・学習状況調査の実施、分析、結果や課題の共有、次年度に向けた取組みのプレゼンテーション、各種の研修、校内授業研究等)をより円滑に進める。</p>						

重要項目	1	学力の向上	担当課名																																																																																																												
施策目標	(1)	暇の授業スタンダードの確立(第2期学力向上3ヶ年計画の実施)	学校教育課																																																																																																												
主要事業	③	フォローアップ対策の充実																																																																																																													
年度の目標	<p>学校との連携をより強化し、真にフォローアップが必要な児童の出席を促すとともに、学習フォローだけでなく、学習意欲を向上させる取組みを行い、保護者への理解を深め家庭学習の習慣化をめざす。各学校において、夏休みに、子どもの参加促進、教材の作成等の工夫、学習指導員や学生ボランティアを活用したきめ細かな学習支援を行う。</p>																																																																																																														
計画の概要	<p>本教室は、平成24年度から、四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画の基づくフォローアップ対策事業として始まり、平成24年度は月1回、平成25年度からは月2回実施している。会場を順次学校へと移行することにより、参加児童を増やす。また、家庭学習が習慣化しにくい児童や、授業中だけでは学習内容が定着しにくい真にフォローアップが必要な児童に対し、教員と保護者が連携して積極的な参加を促し、本市の学力を向上させる。</p> <p>また、学習意欲が低下している児童は、宿題や教材の学習だけでは意欲の向上が見込まれないことから、絵本の読み聞かせ、フラッシュカード、工作等で児童の興味関心を掻き立て、学習意欲を向上させる。</p> <p>なお、全小中学校では夏休みフォローアップ授業を実施し、個別の児童生徒へのフォローアップを学校の実情に応じて計画的に行う。</p>																																																																																																														
活動の実績	<p>平成29年5月から平成30年3月(8月を除く)まで、月2回、合計20回実施し、平均参加者数は135人であった。児童の実態に合わせて、絵本の読み聞かせや視写、たし算のフラッシュカード等を行い、学習への興味や関心、意欲を向上させた。また、特別教室「はてな科」として「紙工作」などの科学実験の体験学習や、「なわて科」として「かみしばい」などの郷土学習を実施した。</p> <p>学年に合わせた視写学習を行い、完成した作品を製本して児童に返却する取組みも参加者の学習に対する意欲の向上につながった。児童数の減少や、天候不順、地域行事への参加等により、延べ参加人数は減少したものの、土曜日フォローアップ対策コーディネーター(注1)の学校巡回により、学習支援補助員(注2)との連携強化を図り、取組み状況や参加回数に応じた賞状を渡すなど、新たな取組みをはじめ、参加児童数の確保を図った。</p> <p>(注1)土曜日フォローアップ対策コーディネーター:教育委員会の職員で土曜日フォローアップ教室の内容などを企画立案するなどのコーディネーターを担う人材。 (注2)学習支援補助員:土曜日フォローアップ教室で、児童に対して指導するなどの対応をする人材。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">5月</th> <th colspan="2">6月</th> <th colspan="2">7月</th> <th colspan="2">9月</th> <th colspan="2">10月</th> <th colspan="2">11月</th> <th colspan="2">12月</th> <th colspan="2">1月</th> <th colspan="2">2月</th> <th colspan="2">3月</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>1回</th> <th>2回</th> <th>3回</th> <th>4回</th> <th>5回</th> <th>6回</th> <th>7回</th> <th>8回</th> <th>9回</th> <th>10回</th> <th>11回</th> <th>12回</th> <th>13回</th> <th>14回</th> <th>15回</th> <th>16回</th> <th>17回</th> <th>18回</th> <th>19回</th> <th>20回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27年度</td> <td>231</td> <td>222</td> <td>251</td> <td>233</td> <td>253</td> <td>222</td> <td>196</td> <td>193</td> <td>169</td> <td>137</td> <td>125</td> <td>99</td> <td>125</td> <td>135</td> <td>129</td> <td>116</td> <td>146</td> <td>104</td> <td>130</td> <td>102</td> <td>3318</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>247</td> <td>241</td> <td>194</td> <td>223</td> <td>200</td> <td>185</td> <td>185</td> <td>149</td> <td>116</td> <td>155</td> <td>137</td> <td>100</td> <td>104</td> <td>120</td> <td>97</td> <td>95</td> <td>86</td> <td>105</td> <td>111</td> <td>91</td> <td>2941</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>190</td> <td>219</td> <td>233</td> <td>205</td> <td>216</td> <td>201</td> <td>155</td> <td>113</td> <td>114</td> <td>110</td> <td>95</td> <td>87</td> <td>100</td> <td>104</td> <td>99</td> <td>76</td> <td>82</td> <td>95</td> <td>102</td> <td>107</td> <td>2703</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の課題として、順次学校会場へと移行していくことで、開催場所の問題(校区にない)、ふれあい教室に所属している児童が出席できない等の諸課題を解決するとともに、全体の参加者数を増加させ、より一層充実した事業となるよう検討したい。</p> <p>校長会、学力向上対策プロジェクトチーム会議において各校の出席状況を報告し、各クラスにおいて学習に課題のある児童の出席に向けての資料として活用している。中には、学習内容について学習支援補助員と学校が連携し、指導方法等が連携できたケースもあり、有効なてだてを講じることができた。</p> <p>また、各校では、学習指導員(注3)、学生ボランティア(注4)を活用し、夏季休業開始時の概ね5日間に、全小中学校で夏休みフォローアップ授業を行い、一学期の復習や夏休みの宿題を行うなど、支援が必要な児童生徒を中心にフォローアップを行った。</p> <p>(注3)学習指導員:授業中に児童の支援を行う人材。教員免許を持つ。 (注4)学生ボランティア:授業中に児童の支援を行う人材。主に学生。</p>				5月		6月		7月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回	H27年度	231	222	251	233	253	222	196	193	169	137	125	99	125	135	129	116	146	104	130	102	3318	H28年度	247	241	194	223	200	185	185	149	116	155	137	100	104	120	97	95	86	105	111	91	2941	H29年度	190	219	233	205	216	201	155	113	114	110	95	87	100	104	99	76	82	95	102	107	2703
	5月		6月		7月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計																																																																																										
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回																																																																																											
H27年度	231	222	251	233	253	222	196	193	169	137	125	99	125	135	129	116	146	104	130	102	3318																																																																																										
H28年度	247	241	194	223	200	185	185	149	116	155	137	100	104	120	97	95	86	105	111	91	2941																																																																																										
H29年度	190	219	233	205	216	201	155	113	114	110	95	87	100	104	99	76	82	95	102	107	2703																																																																																										
実績の評価	評価の内容																																																																																																														
A	土曜日フォローアップ教室、各校の実態に応じた個別支援の結果、全国標準学力検査の学力低位層の割合も平成29年小学校32%から平成30年度小学校全体31%へと減少したことから、評価をAとする。																																																																																																														

年度	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国府支出金	地方債	その他	一般財源
27	925 千円	820 千円	0 千円	0 千円	0 千円	820 千円
28	1,120 千円	967 千円	0 千円	0 千円	0 千円	967 千円
29	1,522 千円	1,276 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,276 千円
現 状 の 課 題						
<p>真にフォローアップ対策が必要な児童生徒へのアプローチ方法及び参加者を増やす方法を探る。 参加児童が興味を持って学習に向かえるような学習形態の仕組みをつくる。 学校や地域と連携し、参加者の増加に向けた体制を構築する。 学校会場へと移行していく際の施設管理と、参加児童の安全配慮を行う。</p>						
今 後 の 取 組 み						
<p>今後学校や地域とも連携及び調整を行い、まずは体制整備から進めていきたい。 学習支援補助員や地域ボランティアによる参加児童への声かけで、意欲的に取り組む児童を増加させる。 平成30年度以降も、順次、学校会場へと移行していくことにより参加者数を増加させるとともに、学校との連携を一層強化し、本市児童の学習習慣の定着と学力向上を図りたい。</p>						